

## ウッドショックの収束見込みや価格の推移など

### ポラテックに聞くプレカットの動き (前篇)

ポラテック(株)  
専務取締役 北大路康信

日本市場を襲ったウッドショック。その影響を深刻に受けているのは木造の住宅や建築物の構造材を加工しているプレカット工場と言われており、プレカット各社では引き渡しの延期も起きている。本誌では、日本最大のプレカット工場を全国6か所に擁するポラテックの北大路専務にウッドショックの影響についてインタビューした。



#### ポラテック株式会社 専務取締役 北大路 康信

##### 【プロフィール】

ニチメン株式会社を経て、1998（平成10）年、ポラテック(株)に入社。

2000（平成12）年プレカット事業部長、2007（平成19）年、同社常務、2014年（平成26年）同社専務、現在に至る。

プレカット材の加工実績で日本一を誇る工場の司令塔として活躍している。

#### どうして木材が足りないのか？

—：日本最大規模のプレカット工場を全国6カ所で運営するポラテックにおけるウッドショックの影響についてお聞かせください。

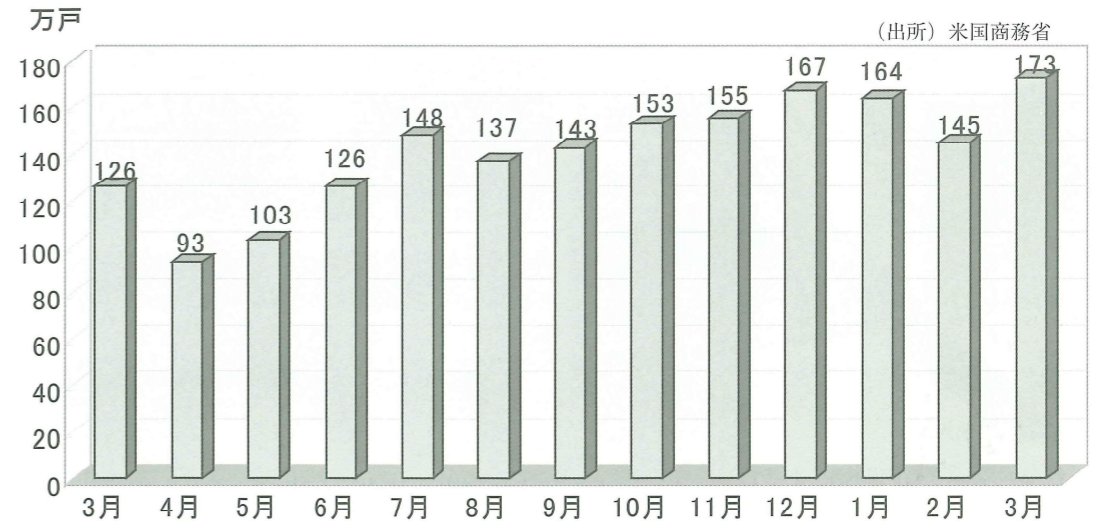
**北大路**：木材が厳しくなり始めたのは、3月の中旬頃でした。そもそもそのきっかけは、北米材の値上

がりからでした。米国の着工数がいつもは120万ほどで推移しているのに対して、新型コロナで在宅時間が増えたことなどが影響して、150万、170万戸まで増えていきました。

木材の仕入れ価格は少しずつあがってはいたのですが、昨年の11月頃からツーバイフォー材で大きな値上げがありまして、2

月、3月と値上げが何度も続いて、それと荷動きが悪くなっていました。コンテナが遅れるということは想定していなかったのですが、遅れが生じるようになりました。

プレカット材が不足している直接的な原因は、コンテナの入荷遅れです。かれこれ50年、輸入木材の仕事をしていますが、コンテ



(図1) アメリカの新築住宅着工数の推移

ナの入荷遅れというのは初めての事です。

—：コンテナによる木材の輸送が遅れているというのは、スエズ運河での事故の影響ですか？それとも世界的な不足の影響ですか？

**北大路**：ポラテックでは、木材の7割くらいをヨーロッパから買っています。コンテナとしては中国からアメリカやヨーロッパに行くコンテナが多くて、年末・年度末

は特に多いのですが、コンテナの全体的な量としては世界的には足りているので、コンテナ不足ということではなく、中国からヨーロッパやアメリカに送られたコンテナが多くて、復路が遅れているということです。

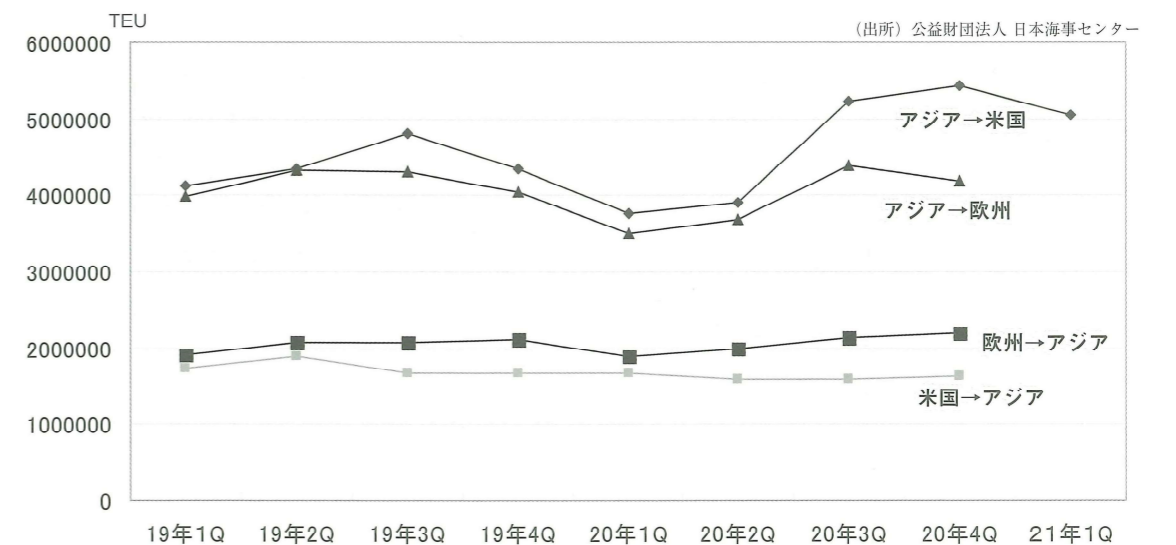
また、フィンランドにしても、スウェーデンにしても、山から材が出てこないという状況ではないので、おそらく5月頃の船便をピークにして、コンテナは足りるようになるでしょう。

それにポラテックでは、陸路でも輸入しておりまして、シベリア鉄道を輸送に使っていて、ハバロフスクから買っています。

#### プレカット工場でも木材不足

—：樹種としては、どのような部材が不足していますか？

**北大路**：欧州産のレッドウッド（＝レッドパイン、オウシュウアカマツ）が不足しています。日本



(図2) 主要コンテナ航路の荷動き動



ウッドショックの影響によるコンテナの到着遅れで、柱や梁に使うレッドウッドに不足感がある

の住宅の柱には、ホワイトウッドよりも、少し高くてもレッドウッドの方が色合いが合うということで、レッドウッドのラミナを集成材にして使うことがだんだん増えていきました。

私が最初に欧州でレッドウッドを買い付けた時は、硬さによって1から7までグレード（等級）があって、そのうち、6と7は中東などに需要があって、1から4までは欧州で家具用に需要があって、5相当のやや節、割れ、ひねりがある材が多くあったから、5のラミナを使って、柱とか梁に

使ったんです。

—：プレカット工場での稼働への影響はどのくらいでしょうか？

**北大路**：5月から、キャパシティに対して、2割から3割の減産になります。

在庫は例年ですと0.8か月分で、去年は少し多くて0.9か月分でしたから、第2クォーター（4～6月期）分は、5月から不足の影響が出てきます。

プレカットの注文は受けているのですが、納期延長のお願いをし

ています。

受注はとめませんが、無制限で注文を受けているというわけではありません。注文を受ける際には、何月までいっぱいになっているかスケジュールをお伝えしています。

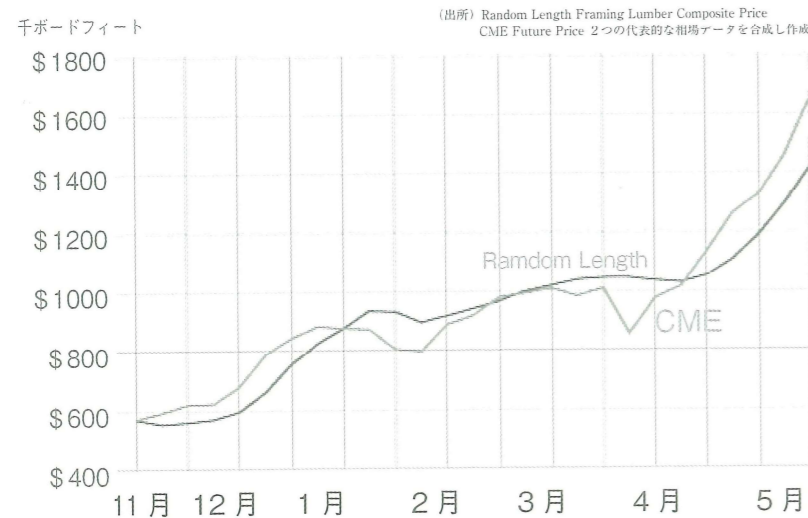
#### 早期に回復するも 価格上昇は続く？

—：今後の見通しとしては、どのように見えていますか？

**北大路**：おそらく3か月くらいで落ち着くでしょう。

業界では今年一杯とかそれ以上とか長く見ている人が多いようですが、私はそうは思いません。ウッドショックと呼ばれた木材不足は、過去に何度かありましたが、3カ月が山でした。そんなに長く続くことはありません。7月くらいから持ち直してくると思います。

—：ということは短期で収束するということですね。



(表3) 米国の木材価格は記録的な高騰が続いている



インタビューを受ける北大路専務

**北大路**：ある所まで行って元に戻るといことです。せいぜい3か月でしょう。

—：コンテナ遅れはそれくらいで戻るとい予想のようですが、木材価格の方はどうですか？

**北大路**：価格の方はあがり続けるんじゃないでしょうか。

これまでの木材の値上がりというのは、1立米あたり、1,000円とか、それくらいの価格だったんです。それが2月、3月になって、立米あたり5,000円とか、1万円といった値上がり幅になってきました。

それも、輸入材だけでなく国産材の価格までどんどん値上がりしています。

やはり国産材の事業というのは長い歴史と経験がありますから、木材の価格があがりはじめると急に出てこなくなって、価格があがりはじめます。国産材というのは基本的に価格が暴落した時にしかたくさん出てこないんですね。

ですから、木材の価格上昇は、輸入材、国産材などの産地にかかわらず当面つづいていくと思います。北米での木材価格が5倍まで上がってますから、欧州材の仕入れでも一部は買い負けて、北米に流れているものもあるかもしれま

せん。

ただし、ヨーロッパのサプライヤーは、高く買ってくれるから、その国にだけ流すという売り方はしません。世界50～60カ国と取引していて、長い目でみて安定的に供給することになっています。今もちゃんと供給してもらえますから、一時的に買い負けることがあっても、心配はいりません。

それに世界的に木材が不足するというところはありません。

以前、インドネシアのラワンが伐採禁止になるといことで材料が不足した時には、私がフランスからアフリカに行って10万㎡買い付けてきたことがありました。木材は世界中探しまわれば必ずどこかにあります。

—：ウッドショックで気をつけた方がいいことなど、工務店さんに向けて何かアドバイスはありますか？

**北大路**：こういう時に損をしてしまうのは、素人の方といいますが、普段、あまり木材を買い付けていない方なんです。まわりの様子を見て、焦ってしまって、つい要らないものを勧められるままに買いだめしたりして、後で失敗した、損したと気付いたりするんですね。

ですから、こういう時は、何もしないで様子を見ているのがいいですよ。

(次号に続く)